

「10の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ」



福島県では、震災と原発事故から間もなく15年が経過する中で、**福島県の復興の状況**をより多くの方に知っていただけるよう、**復興に関する10の疑問**に答える形で、図や写真でわかりやすくまとめた資料を作成しています。

福島を応援する「ベコ太郎」

「福島県の復興って今どれくらい進んでいるんだろう…?」と疑問に思つた方や初めて福島を訪れる方などに是非ご覧いただければと思います。



10の疑問

- (1) 地震と津波の被害はどれくらいだったの?
 - (2) 原子力災害はどんなものだったの?
 - (3) 放射性物質ってなんだろう?
 - (4) 廃炉作業ってなんだろう?
 - (5) ALPS処理水ってなんだろう?
 - (6) 避難指示等区域ってなんだろう?
 - (7) 福島の食べ物はどうなったの?
 - (8) 福島の観光はどうなったの?
 - (9) 福島イノベーション・コースト構想ってなんだろう?
 - (10) 風評被害ってなんだろう?

10の疑問から学ぶ ふくしま復興のあゆみ▼



ページ例

① 地震と津波の被害はどうくらいたったの？

2011年3月11日の地震は、マグニチュード9.0を記録し、国内観測史上最大級の地震だったんだ。福島県では震度6強を記録し、地震で建物が壊れたり、土砂が崩れたりしたんだ。震源の沖合では、津波で大きな被害を受けたよ。

各地の震度と被害状況

震度分布
震度6強
震度7
震度8
震度9
震度9強

地震被害：須賀川市

地震被害：白河市

津波被害：いわき市

津波被害：江町

この地震で亡くなった人は、4,181人※（2025年11月1日時点）。のうち、地震・津波が直接の原因で亡くなった人は、6,055人で、そのほとんどが津波によって亡くなつたんだ。また、その後の避難生活などで体調を崩して亡くなつた方は、2,350人で、このようにして亡くなつてしまつたことを、「震災後遺症」というんだ。

※行方不明を除いてないのが、亡くなつたのを除いて生き残つた方が226万人を含む

⑩ 風評被害ってなんだろう?

⑦さて、福島県のものやお米の種苗が他の県よりも安いことや、観光客数が震災前の状況まで回復していないと危惧したね。

連携した情報が広がることを「風評」といい、風評による誤解や思い込みで、福島県産のものや、福島県に来ることが避けられてしまうことを「風評被害」といよいよ。

海外や国内での状況

○輸入規制をしている国、地域 55→5 [2025年11月21日]

2011年8月 2025年11月

福島県産米の「福島県産米として販売している県」 (12州) → 5州 → 4州

福島県産米の「福島県産米として販売している県」 (4州) → 2州

福島県産米の「福島県産米として販売している県」 (34州) →

福島県に輸出する国により輸出商品を販売している県 (4州)

○福島に隣する消費者意識の実態調査

東北の震災の影響で買わない > (2025年3月) 消費者意識

過去の震災時買取実績(買取しないもの)

福島県産米を購入しない人がいる

福島県産米を購入しない人がいる

→ 6.2%

福島県の飲食料物販売実績について

地震でいるところ「買わない」と回答した人

→ 60.0%

福島県では、風評を取り除くために、県内の放射線量の状況などの**正しい情報**と、**農林水産物**や**観光**などの**魅力**を国内外に発信したり取り組を進めているんだ!

福島県の魅力を発信

やうやけベリー オリジナル品種の開発 ほ.笑い 洋漁リブレー・ツーリズム

ゆうやけベリー

オリジナル品種の開発

ほ.笑い

洋漁リブレー・ツーリズム

海外での農林水産物のPR 渋フェスの開催

○復興の基礎的な情報に加え、現状と課題等をまとめた「復興・再生のあゆみ」

○復興の進捗をグラフ等を用いてまとめた資料集「ふくしま復興のあゆみ」

○復興の状況・浜通り地域等15市町村のあゆみを視覚的にまとめた『「新生ふくしま」の実現に向けて』も作成しています。復興の状況について詳しく知りたい方は是非ご覧ください!

詳しくはこちら▼

